

No.19

2004. 6. 1

# 地球の木

地球上のすべての人たちと共に生きたい

■発行 特定非営利活動法人  
地球の木 理事会  
■発行責任 丸谷士都子  
■編集 広報部  
■事務局 〒231-0032  
横浜市中区不老町1-3-3  
フェニックス関内2F  
TEL 045-228-1575  
FAX 045-228-1578  
E-Mail:CZR10753@nifty.ne.jp  
<http://homepage1.nifty.com/EarthTree>

## CONTENTS

- 戦争が残すもの
- カンボジアに希望の力
- 子どもたちの笑顔をみつめて
- 支援地から
- シンプルライフキャンペーン
- 伝えたいきたい友好のメッセージ
- 活動日誌
- 市民活動フェア2004
- アジアンフェア期末セール
- プランチから
- INFORMATION

## 戦争が残すもの

理事長 丸谷士都子

今は遠くなってしまったように思われるベトナム戦争。30年経った今でもその負の遺産は根強く残っていることをラオスとカンボジア調査に参加して実感しました。

### 森の民と戦争

自給自足の森の生活を刺繡にした布、「モラ」と呼ばれる美しい配色の手芸。その細かい手仕事が人気を呼んでいます。これを作っている「モン族」の人たちは、アメリカに親戚を持つ人が多いため、ビエンチャンではインターネットカフェが普及しています。地球の木では村人による森の管理であなじみのラオスですが、ここに、ベトナム戦争にまつわる悲しい話があるのです。

「モン族」は、中国、タイ、ラオスに住む山岳民族です。ジャングル戦に優れていることに注目したアメリカはラオスモン族を傭兵として訓練し、北ベトナム軍やパテト・ラオ軍（ラオス愛国戦線）と闘わせたのです。アメリカ兵の盾になり、20万人もの犠牲者が出て世に知られたのはほんの5年前のことです。1975年に社会主義政権が成立した際、迫害を受け、多くが難民となりました。今アメリカには17万人のモン族が暮らしています。

ラオスは、ベトナム本土よりも爆弾を多く落とされた国です。調査で村に向かっていたとき、不発弾の処理のため、車が止められることもありました。村を訪ると、その殻を半分に割ったものがプランターとして使われていました。ベトナム戦争終結から30年経った今でもなお残る戦争の傷跡に胸が痛みます。

### 傷がいえるまで

4月にカンボジアを訪れました。都市では経済開発がめざましく、表面的には豊かになったかのように見えますが、経済格差の広がりがますます問題となっていくでしょう。

カンボジアもベトナム戦争の巻き添えとなった国です。親アメリカの政府と共に産業の内線で50万人の命が奪われました。さらに1975年から3年8ヶ月にわたるポルポトによ



不発弾の殻を半分に切ったプランター

る「恐怖政治の時代」。行政、経済、教育、宗教、家族制度に至るまで、従来の伝統的価値観や社会体系を無視した政策があこなわれました。無謀な農業政策により国土は荒れ果てました。さらに、体制に反抗する者、知識人、異民族などに対する虐殺により、170万人の死者が出たと推定されています。社会を築く基

盤となる人たちがすっぽり抜け、精神的なダメージを受けて人間不信になった国民が、破壊された社会を築き直すのです。今もたくさんのジレンマに苦しんでいるように見えました。

そんな中、子どもたちのために献身的に活動するすてきな人たちに出会いました。その一人ひとりの歩んできた歴史はそれぞれに重いのですが、苦しい経験を前向きのエネルギーに変え、明るく確実に歩んでいる姿は感動的でもありました。

### 平和を創るには

戦争ーそれは何十年経っても、社会に大きな影を落とし、人々の心の傷となって残っていることを肌で感じました。太平洋戦争で日本軍がアジア各地に及ぼした影響にも思いをいたさずにはいられませんでした。地球上で起こっている醜い戦争に対して私たちは加担してはいけない、私たちの普段の考え方や生活の中に他の国へ重大な影響を及ぼしているところがあるとしたら、それに気づき、変えていかなくてはならない、と決意を新たにしました。

「なんのために支援をするの？」とある会員から聞かれました。みんなでおおいに議論すべき問題だと思います。私たちはこう考えます。よりよい社会をめざして働く草の根の人たちを支えるとともに、私たち自身も世界のあり方を学び、よりよい生き方ができるよう私たちの社会を変えていくこと。より多くの仲間を募り、皆で大きな流れを創っていきましょう。





# 伝えたいきたい 友好のメッセージ

「KOREAこどもキャンペーン」では、3月27日から31日まで朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）を訪問し、「春窮」と言われる食糧の厳しい時期に東海岸江原道の子どもたちへの食糧支援を行いました。これまでの支援は、自然災害の被災地である農村部を中心に行っていました。今回は「現在北朝鮮では、都市部の食糧事情が厳しいので支援して欲しい」という現地の要請を受けて、アンビョン郡に加え、江原道の道都であるウォンサン市へも食糧支援を行いました。

ウォンサン市は人口31万人で、造船やセメント工場、水産加工品などの工業従事者が多い工業都市です。7つの協同農場があるものの野菜中心で穀物の生産は少なく、江原道洪水対策委員会のリ・ミヨンソン氏によると、以前は西海岸の黄海北道から穀物を運んでいましたが、近年はその輸送が途絶え、1日300グラム（大人）の穀物の配給さえ達成できていないそうです。ポムチョン配給所の女性職員は、2月から国連の支援も来なくなつたので今回の支援は大変ありがたい、でも4月以降はどうなるのか…と心配していました。どこの施設でも食糧貯蔵室には、薬草や塩づけ野菜があるだけで、昨日届いた米を「すでに食べさせました」と言っていることからも食糧事情の厳しさがうかがえます。現地の託児所の先生たちは、園庭にジャガイモを植えたり、ウサギを飼ったりして子どもたちの栄養状況改善に努力していると言っていました。先生方は、初めての訪問にも

かかわらず満面の笑みを浮かべて迎えてくれ、台所で米を研ぐ様子やミルクを作っているところ、食事をしているところまで見させてくれました。私の腕をギュッとつかみ「また来てくださいね」と見つめる先生の姿が今でも忘れられません。

ウォンサンは万景峰号の寄港地でもあり、日本ともつながりが深いところです。「日朝関係の厳しい中、子どもたちのことを心配し、こうして来てくれる人がいるのは本当に嬉しい。我々は平和を願っているのです」と話していたのがとても印象的でした。外国人が多いピョンヤンと違ってウォンサンでは道行く人たちが珍しそうに私たちの車を見ていきました。表通りから少し入ったところにある配給所の周りには人垣ができていました。日本から来ている私たちのことがたとえ少しずつでも、友好のメッセージとして伝わっていくことを願いながら現地を後にしました。

（事務局長 筒井由紀子）



ウォンサン市の孤児院で、なっぱの汁かけご飯を食べる子ども

## 活動日誌（3月～5月抜粋）

3月 6日	JANIC（国際協力NGOセンター）主催 連続講座「識字と女性・NGO」に講師参加	4月21日	JVCラオス中村さん帰国報告会 P4に報告
13日～14日	市民活動フェア2004 (かながわ県民サポートセンター) P7に報告	23日	ホームページ講習会
20日	3.20ピースパレードIN日比谷に参加	24日	KOREAこどもキャンペーン報告会 (JVCにて)
23日	アジアンフェア期末セール P7に報告	26日	平楽中学校職員研修会に講師として参加
24日	ラオス調査報告会 「見た、聞いた、ラオスの村のくらし」	5月1日～8日	ネパール現地調査 P4に報告
27日～31日	KOREAこどもキャンペーン訪朝 P6に報告	2日～5日	韓国にて「南北コリアと日本のともだち展」
27日	真荷舟「地球市民コンサート2004」にて、 グッズ販売	8日	平楽中学校「国際学習」に講師参加
4月6日～13日	カンボジア現地調査 P2～3に報告	11日	カンボジア調査報告会
10日	KOREAこどもキャンペーン勉強会（なんぶ）	15日～16日	あーすフェスタかながわ2004 「みんなで育てる多文化共生」
17日	清泉女子大学「NGOフェア」にて活動紹介	21日	JCNC大橋さん帰国報告会 (フィリピンチーム)
		22日	なんぶ総会
		29日	地球の木総会

# \*市民活動フェア-2004\*

川崎プランチ 西田千代子

3月13日(土)、かながわ県民サポートセンターで開催された「市民活動フェア-2004」に地球の木も参加しました。これは、同センターを利用している市民団体が一堂に会したお祭りです。地球の木は11階で韓國のお好み焼き・チヂミを焼いて販売、15階ではフィリピン・ネグロスとラオスの調査報告、その後、新しくなったマジカルバナナのワークショップを行いました。私はその受付を頼まれての参加でしたが、会員になってまだ2年も経っていないので調査報告は新鮮でした。

印象的だったのは、ネグロス・ツブラン農場で使われている「生物活性水」。養豚場の汚水をいくつもの浄水槽をつなげて浄化し活性水を作り、それを畑にまくことで農薬や化学肥料を使わない農業ができていることでした。また、今までよく知らなかつたラオスですが、ベトナム、カンボジア、タイ、そして中国に囲まれた、海のない「森の国」だったんですね。

我家の家計から捻出した地球の木の会費が海外の人たちの役に立っていることが分かって嬉しく思いました。



## アジアンフェア-期末セール

収益事業担当・理事 廣瀬 康代

3月23日(火)、地球の木事務所で今まで支援地調査に行った時に購入した物や、イベントのために仕入れたグッズの棚卸しセールをしました。

これは、会員のみなさんに買い物がてら事務所に来ていただき、今地球の木がどんな活動をしているかも見ていただきたいと企画したものです。それと、地球の木を多くの人に知ってもらおうと、朝日新聞と神奈川新聞にも掲載をお願いしました。

当日は少し肌寒い曇り空でしたが、会員以外の方も含め予想以上にたくさんの方が来てくれました。また事務所のテーブルを囲み、出会った人たちがクッキーとコーヒーで、ゆっくりおしゃべりする風景

も見られました。このセールには、当日、また準備にもさまざまなボランティアの協力がありました。「お買い物で国際協力」はひとつの支援の形ですが、こんな風に自分のできる方法で何かを手伝うことも支援につながるということを多くの人に実感してほしいなど、改めて思いました。地球の木が、更におあせいの人の集まる広場になっていくといいですね。

次回は6月23日(水)です。

この日には、最新の現地調査(ラオス、カンボジア、ネパール)で買ってきたものや、地球の木ブランドの品物もあります。お楽しみに。

なれぶプランチ

## コリアこどもキャンペーン

真矢 公子

「地球の木が行っている北朝鮮人道支援問題について知り、意見交換しませんか」と、地球の木会員だけでなく、生活クラブ組合員にも呼びかけて、4月10日、栄区内のあーすプラザで実施しました。北朝鮮への支援については、なんぶプランチ内でもさまざまな意見があり、まず知ることから始めようとしたものです。

当日は中学生を含めて13人の参加者がありました。北朝鮮への支援物資を届けてちょうど帰国したばかりの筒井由紀子さんのお話とパソコン画面に映るたくさんの写真を見て、「初めて知ることばかりだった」「もっと知りたい」など、また「細々と続けていた支援が現地の人と信頼関係を築いていることに感動した」「人と人が出会う草の根の運動が、複雑な国と国民の関係を超えて先に進める何かを産み出してくれると思う」などの感想が寄せられた。

なれぶはすごいなあ。  
運営委員は、ほとんど  
働いている人なのに、定期  
的に集まって「次は何しよう」  
なんて相談してる。とってもいい  
感じ。これぞ地球の木!って  
思いました。 筒井



# INFORMATION

## もうひとつの会報

地球の木のホームページもどうぞよろしく!! HPはいつでも見られるもうひとつの会報です

地球の木のホームページ(HP)をみたことがありますか? 昨年リニューアルしてとてもきれいなHPができました。パソコンはちょっと、という方もご家族のパソコンを借りてアクセスしてみてください。

<http://homepage1.nifty.com/EarthTree>

もしくは【検索】に、「地球の木」と入るだけでOKです。

これまでの調査報告やプロジェクトの現状、これから開かれる学習会やイベントのお知らせ、

など情報満載です。今年は新しい情報を速やかに掲載し、内容を充実させていきます。



### ●メルマガを発行します●

月1回程度メールマガジンで最新情報をお届けします。メールアドレスをお持ちの方、ぜひご登録下さい。

(HPからご登録ください)

## NEWマジカルバナナ ファシリテーター養成講座

### 今度はあなたがファシリテーター

#### ●1回目 「はじめの一歩」入門編

日 時 6月19日(土) 13:30~16:00

場 所 横浜市市民活動支援センター研修室2  
(JR桜木町徒歩5分)

参加費 500円

#### ●2回目 「ファシリテーター体験」

日 時 7月24日(土) 13:30~16:00

場 所 同上

参加費 500円

申込問合せ 地球の木事務所

## あなたもボランティアしてみませんか?

地球の木ではボランティアを募集しています。



学生ボランティアも大活躍!!



あーすフェスタ2004(5/15~16)にて

### 地球の木とは、

地球上のすべての人々が自然と共に存し、人が人らしくあたりまえに生きていくことが出来るように、地域と地域を結ぶ国際協力活動を行ない、相互理解を深める社会教育活動を通して、お互いの人権を尊重し、それぞれが自立した生き方を創造することを目的としています。

## アジアンフェア 好評につき第2弾

日 時 6月23日(水) 11:00~16:00

場 所 地球の木事務所

支援地の手工芸品やオリジナル品を販売します。  
コーヒーを飲みながらお話ししませんか。

販売物: (支援地のフェアトレード商品など)

- ・カンボジアのシルクスカーフ・布かけ棒
- ・ダカ織り布スカーフ・バティック布
- ・ミティラアート小物入れ・韓国ストラップ
- ・ビーズ指輪・ラオス小物入れ
- ・タイのかわいい小物たち
- ・有機コーヒー・手作り菓子



## 夏休み企画

### BOX教材ワークショップ

「これってなに?」「何に使うんだろう?」  
BOXから出てくる品々にふれながら楽しく想像をめぐらせます。地球の木の支援先のフィリピン・ラオス・カンボジア・ネパールの文化や生活を知るワークショップです。ご家族そろってどうぞあこしください。

日 時 8月21日(土) 13:30~16:00

場 所 社会福祉センター5階 小会議室2  
(JR桜木町徒歩1分)

参加費 500円

申込問合せ 地球の木事務所

### 緊急支援しました

KOREAこどもキャンペーン(JVC、アーユス、地球の木構成)は、4月22日に起きた、北朝鮮龍川郡での列車爆発事故に対して、緊急支援として医薬品(火傷用軟膏、目薬など)、医療備品(包帯、滅菌ガーゼ、注射器など)を現地の被災者へ送りました。

ご協力ありがとうございました。